

『化石燃料ファイナンス報告書 2026』

参考資料 3 メガバンクの資金提供分析

2026年6月

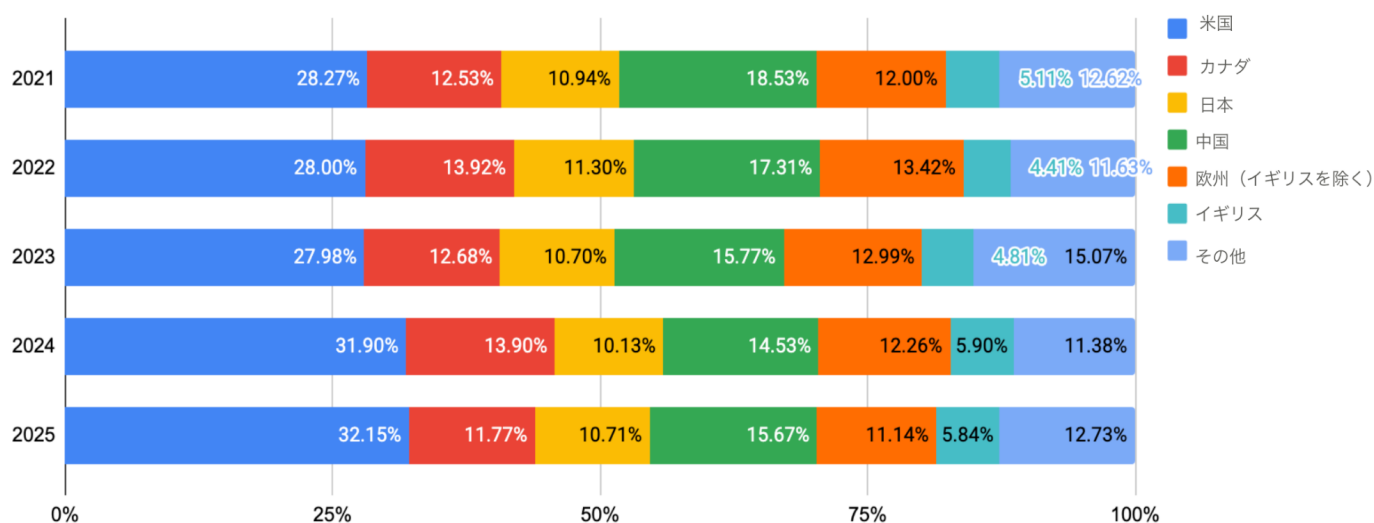
レインフォレスト・アクション・ネットワーク(RAN)

全体の傾向

日本のメガバンクは、化石燃料への資金提供において依然として突出した存在である。3メガバンクは2025年に合計1,250億ドルの化石燃料への資金提供を確約し、世界大手65行の総額の13.7%を占めた。2021年から2025年の間、日本の銀行は世界の化石燃料産業への資金提供の約10~11%を継続的に占め、化石燃料ファイナンスの中心となっている6大金融センターの一つとなっている(下記の「金融拠点別『ビッグ6』の化石燃料ファイナンス(2021~2025年)」を参照)。世界大手65行のうちわずか3行のメガバンクが、化石燃料ファイナンス総額の8分の1以上を提供している。

6大金融センター「ビッグ6」の化石燃料ファイナンス(融資・引受額のシェア、2021~2025年)

出典:「BOCC+」データ¹



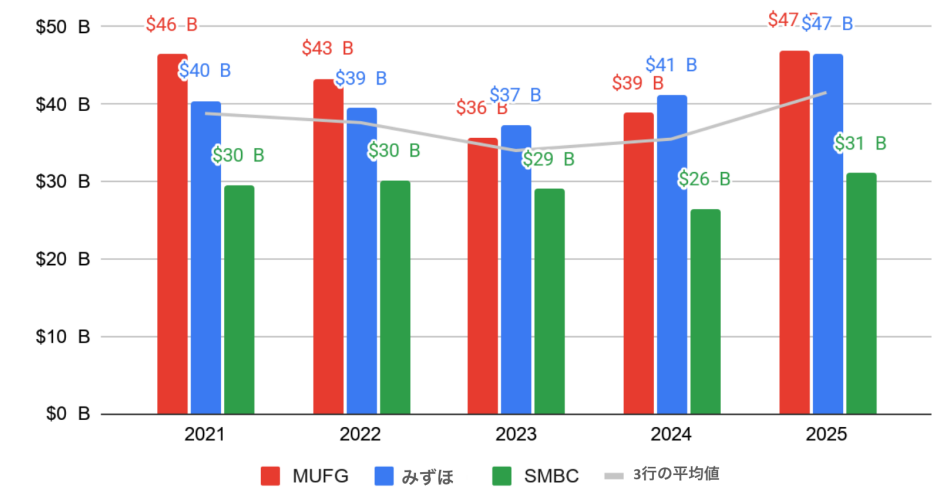
2021年以降、メガバンクはいずれも「ワースト12 銀行」と呼ばれる、化石燃料ファイナンスの世界上位12行に毎年ランクインしている。資金提供額の順位(2021~2025年)は、三菱UFJフィナンシャル・グループ(MUFG)が2位、みずほフィナンシャルグループ(みずほ)が5位、三井住友フィナンシャルグループ(SMBC)が8位となっている。2021年以降、メガバンクによる化石燃料への資金提供額は約5,620億ドルに上る。

3メガバンクはいずれも、2025年の化石燃料への資金提供額で世界上位10行に入った。MUFGが3位、みずほが4位、SMBCが9位である。3メガバンクはいずれも2024年から2025年にかけて化石燃料への資金提供額を増加させ、2024年比で合計180億ドルの増額となった。この増加は主にMUFGによるもので、MUFGの1年間の増加額は65行中最大額の

¹ 「BOCC+」データセット: 化石燃料産業に多額の資金提供を行っている世界約2,000の中小銀行を含む。本報告書では世界大手65行を主な対象銀行としているが、化石燃料ファイナンスの集中度を分析する際などで「BOCC+データセット」の傾向も合わせて分析している。

約82億ドルだった。これは2025年の世界大手銀行のほぼ半数(65行中30行)の化石燃料ファイナンスのポートフォリオ総額を上回っている。

メガバンクの化石燃料ファイナンス推移(2021年~2025年)
(融資・引受額、単位:B=十億ドル)

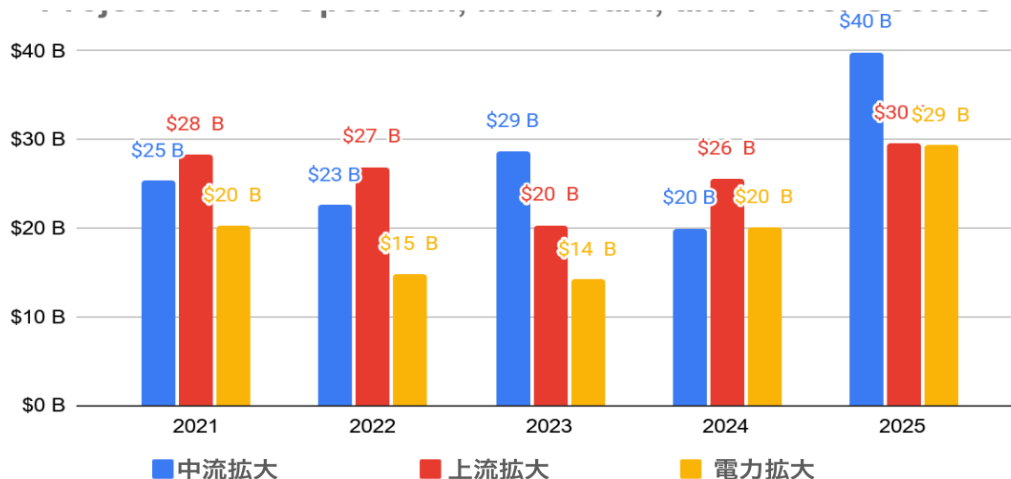


2025 順位	銀行	2025 資金提供額	上位65行の中で占める2025年の資金提供額の割合	BOCC+ データの資金提供額の割合 (2025)
3	MUFG	470億ドル	5.2%	3.8%
4	みずほ	465億ドル	5.1%	3.8%
9	SMBC	310億ドル	3.4%	2.5%
	合計	1,245億ドル	13.7%	10.1%

化石燃料拡大

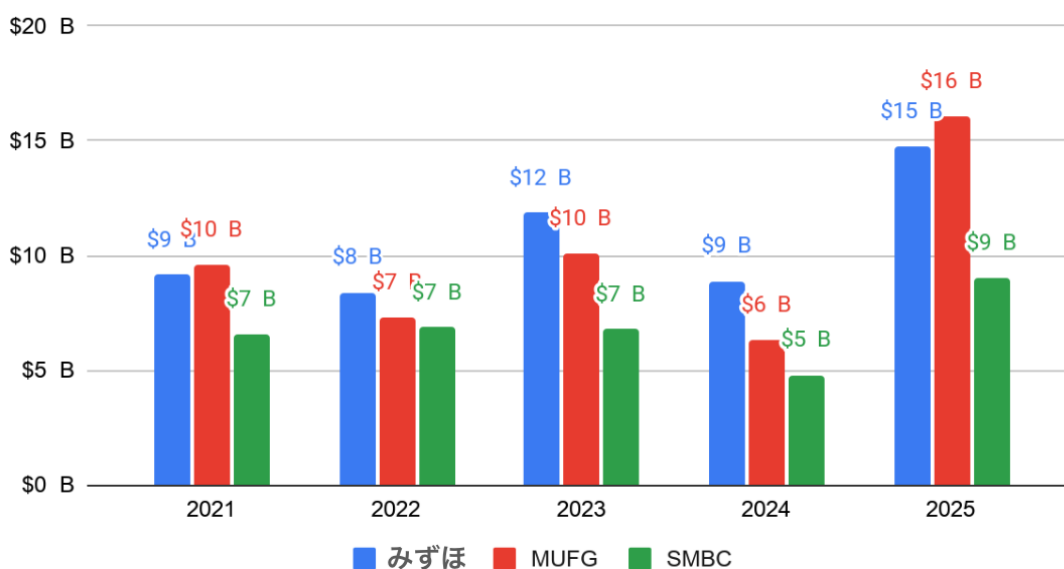
2021年から2025年の間、メガバンクは化石燃料の拡大事業を行う顧客企業に2,700億ドルを提供し、そのうち690億ドルは2025年に資金提供されたものである。2025年の化石燃料拡大への提供額の半分以上は、大規模な石油・ガス、LNG、および/またはパイプラインの拡大計画を有する顧客(多角的な中流部門の拡大事業を行う顧客を含む)に投じられた。特に米国を拠点とする中流部門の拡大を行う顧客へのファイナンスは、2024年から2025年にかけて211%以上増加した。

石油・ガス拡大企業へのファイナンス/中流・上流・電力セクター別(2021年~2025年)
融資・引受額、単位:B=十億ドル



注:一部の企業は、上流、中流、電力のうち、複数の部門で拡大活動を行っている。したがって、各セクターの合計額は、年間の拡大向け資金提供総額を上回ることとなる。

メガバンクの石油・ガス拡大企業へのファイナンス/中流(2021年~2025年)
融資・引受額、単位:B=十億ドル



LNG

日本の銀行は、液化天然ガス(LNG)拡大を行う企業向けに特に強力な支援を行っている。以下の表は、2025年の3メガバンクによる大規模なLNG拡大企業への資金提供状況を示している。本表は、ドイツの環境NGOウルゲバルト(Urgewald)の「[脱石油・ガスリスト\(Global Oil & Gas Exit List: GOGEL\)](#)」に基づき、年間1,000万トン(MTPA)以上のLNG輸入または輸出能力の開発を行う企業への資金提供額を、親会社ベースで示したものである。企業は、3メガバンクからの資金提供額の合計順にランク付けされている。

ウルゲバルトの「脱石油・ガスリスト」によると、2025年には、対象銀行の3分の2以上(65行中45行)が、年間1,000万トン(MTPA)以上のLNG輸入または輸出能力の開発を行う企業への資金提供を確約した。大規模なLNG拡大計画を有する企業への2025年の資金提供額では、MUFGは世界首位となり、みずほは3位、SMBCは6位だった。3メガバンクは合わせて、大規模なLNG拡大企業に190億ドル以上を資金提供した。²

大規模LNG拡大計画のある企業へのファイナンス上位10行(2025年)

融資・引受額、単位:B=十億ドル

2025年 順位	銀行の親会社名	資金提供額
1	MUFG	89億ドル
2	JPモルガン・チェース	57億ドル
3	みずほ	56億ドル
4	ロイヤル・バンク・オブ・カナダ(RBC)	51億ドル
5	ドイツ銀行	42億ドル
6	SMBC	40億ドル
7	バンク・オブ・アメリカ	38億ドル
8	バンク・ビルバオ・ビスカヤ・アルヘンタリア(BBVA)	38億ドル
9	サンタンデール	37億ドル
10	中国工商銀行(ICBC)	32億ドル

注:このリストには、下記のLNG拡大企業11社に加え、中国とインドの大手LNG企業4社への資金提供も含まれている(しかし、日本の銀行は資金提供をしていない)。

² 2025年、メガバンクは、開発中事業のLNG総生産能力(MTPA)が年間1,000万トン以上の22社に対して資金提供を行った。これらの企業は、以下の表において親会社レベルで集計されている。

大規模なLNG拡大計画を持つ主な企業(2025年)単位:B=十億ドル

親会社名	親会社国	LNG 拡大対象国	プロジェクト	開発中の 総生産能力 (MTPA)	MUFG	みずほ	SMBC	メガバンク 合計
ベンチャー・グローバル	米国	米国	カルカシュー・パス LNG、CP2 LNG、ブラクミンズ LNG	70	18 億ドル	24 億ドル	23 億ドル	65 億ドル
シェル	イギリス	アルゼンチン、カナダ、ドミニカ共和国、ナイジェリア、オマーン、フィリピン、カタール、タンザニア、アラブ首長国連邦	ヴェルデ島海峡、スカボロガス田、バカ・ムエルタ、アルバータ州オイルサンド、アマゾン油田・ガス田掘削、南アフリカ沖	33.7	45 億ドル	0 百万ドル	000 万ドル	45 億ドル
トタルエナジーズ	フランス	メキシコ、モザンビーク、ナイジェリア、オマーン、バブアニューギニア、カタール、ロシア、アラブ首長国連邦、英国、米国	東アフリカ原油パイプライン (EACOP)、バブア LNG、カボ・デルガド、ヤマル LNG およびアークティック LNG 2、アマゾン石油・ガス掘削、バレンツ海、南アフリカ沖、バカ・ムエルタ、ガイアナ沖	26.16	9 億 24000 万ドル	11 億万ドル	4 億 8,000 万ドル	25 億ドル
センプラ	米国	メキシコ、米国	キャメロン LNG、ポートアーサー LNG(フェーズ 2)	27.56	5 億 3,700 万ドル	4 億 6,300 万ドル	7 億 1,500 万ドル	17 億万ドル
ネクスト・ディケイド	米国	米国	リオ・グランデ LNG	29.2	7 億 1,900 万ドル	7 億 1,200 万ドル	000 万ドル	14 億ドル
エナジー・トランスファー	米国	米国	パーミアン盆地	16.5	1 億 2,600 万ドル	3 億 3,900 万ドル	3 億 3,900 万ドル	8 億 300 万ドル
エクソンモービル	米国	アルバニア、モザンビーク、バブアニューギニア、カタール、タンザニア、英国、米国	ガイアナ沖、バブア LNG、カボ・デルガド、アルバータ州オイルサンド、アマゾン油田・ガス田掘削、パーミアン盆地	15.36	0 百万ドル	5 億 8,700 万ドル	0 百万ドル	5 億 8,700 万ドル
シェニエール・エナジー	米国	米国	サビンパス LNG、コーパスクリスティ LNG	20.84	9,100 万ドル	9,100 万ドル	9,100 万ドル	2 億 7,200 万ドル
エニ	イタリア	オーストラリア、モザンビーク、ナイジェリア、カタール、コンゴ共和国	バカ・ムエルタ、カボ・デルガド、バレンツ海、ハイル・アンド・ガシャ	12.51	1 億 4,000 万ドル	0 百万ドル	6,900 万ドル	2 億 900 万ドル
ニュー・フォートレス・エナジー	米国	アイルランド、メキシコ、ニカラグア、米国	ファスト LNG	18.3	9,900 万ドル	0 百万ドル	0 百万ドル	9,900 万ドル
KKR	米国	メキシコ、米国	コースタル・ガスリンク、ヴェルデ島海峡	13.54	0 百万ドル	500 万ドル	500 万ドル	1,100 万ドル
総合計					89 億ドル	56 億ドル	40 億ドル	186 億ドル

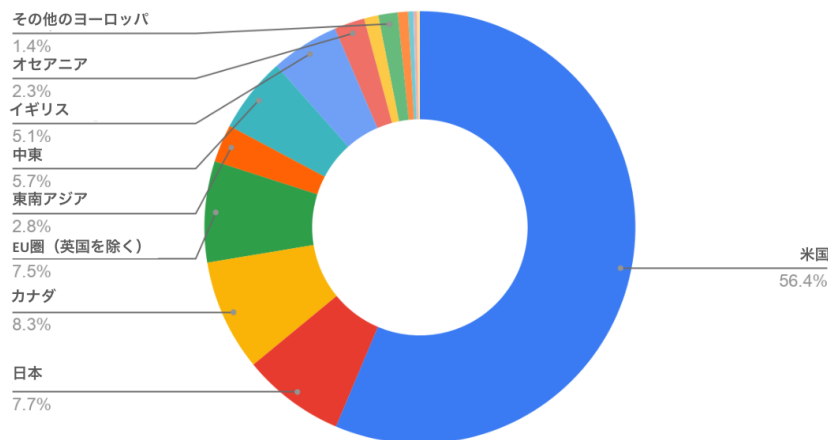
2021年から2024年までの4年間に於いて、MUFG、みずほ、SMBCは、LNG部門全体における資金提供額でそれぞれ1位、2位、4位の金融機関としてランクインした。³

³ <https://exitlng.org/banks-backing-lng/>

化石燃料企業の拠点地域

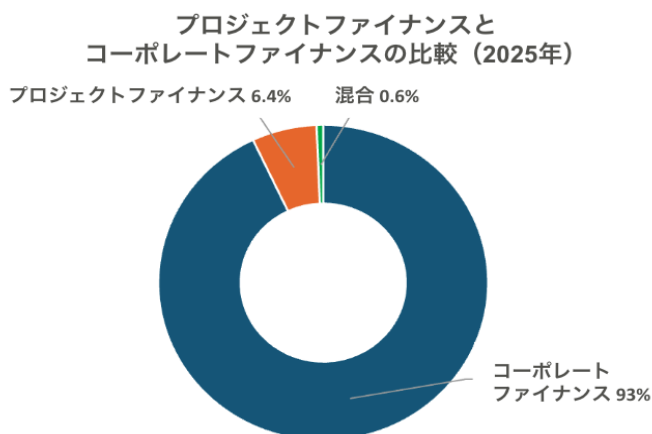
メガバンクによる化石燃料ファイナンスの大部分は、米国が拠点の化石燃料企業に提供されている。2021年から毎年、米国はメガバンクによる化石燃料ファイナンスの最大の顧客地域となっている。2025年には、米国の顧客企業がメガバンクによる化石燃料ファイナンスの56%以上を受け取った。

化石燃料ファイナンス提供先企業地域別の割合 (2021～2025年、単位: %)



プロジェクトファイナンスとコーポレートファイナンス

メガバンクによる2025年の資金提供の93%をコーポレートファイナンスが占めた。これは2021年から2025年までのいずれの年と比較しても、日本のメガバンクによるコーポレートファイナンスの割合として最大である。2025年、日本のメガバンクの資金提供のうち、プロジェクトファイナンスと分類されたのはわずか6.4%で、プロジェクトファイナンスとコーポレートファイナンスの混合型は1%未満であった。



団体紹介

レインフォレスト・アクション・ネットワーク(RAN)は、米国のサンフランシスコに本部を持つ環境 NGO です。1985年の設立以来、環境に配慮した消費行動を通じて、森林保護、先住民族や地域住民の権利擁護、環境保護活動をさまざまな角度から行っています。

本件に関するお問い合わせ

レインフォレスト・アクション・ネットワーク

日本チームマネジャー 関本 Email: yuki.sekimoto@ran.org